



気候危機とコロナ危機

国立研究開発法人 国立環境研究所
地球環境研究センター 副センター長 江守正多

今年は新型コロナウイルス感染拡大対策により世界中で経済活動が制限された影響で、世界のCO₂排出量が大幅に減少しました。4月上旬のピーク時には昨年度比17%程度の減少、年間を通じると今後の経済回復具合によりますが7%程度の減少になると試算されています。今年だけ7%減少して来年から元にもどれば、大気中のCO₂濃度増加や気温上昇にはほとんど影響はなく、今後も温暖化が進んでいくことになります。一方、もしもこれから毎年7%ずつCO₂排出量を減少させていくことができたら、2050年に排出実質ゼロを目指すパリ協定の「1.5°C」目標が達成できるようなペースです。

皆さんはこれを聞いてどう思うでしょうか。「あれだけみんなずっと家にいて何もしなかったのに、それだけしか減らないの?」と思う人がいるでしょう。このことは、生活の仕方を変えるだけでは温暖化は止まらないという事実を私たちに実感させてくれます。もしくは、「経済活動を我慢したらCO₂排出が減ったんだから、温暖化を止めるにはもっと我慢しろということか」と思った人もいるかもしれません。しかし、今年だけでも多くの不満と悲鳴が聞こえてくるのに、これから毎年さらに強く経済を止めることを望む人はいないでしょう。

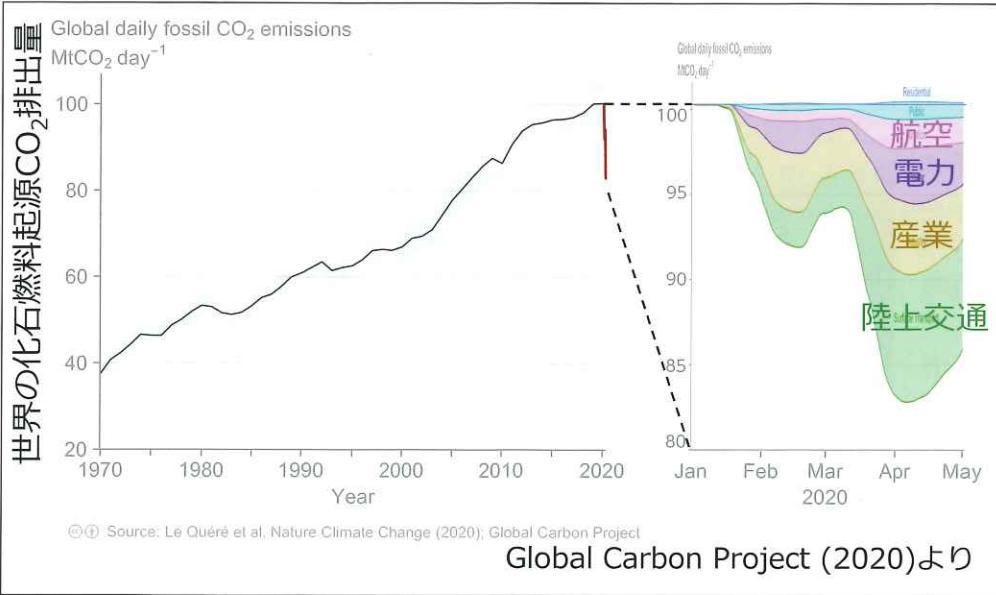
私たちがここで再認識すべきなのは、温暖化を止めるための本質的な行動は「脱炭素」、すなわちエネルギーなどの社会経済システムをCO₂を出さないものにがらりと入れ替えることであり、生活の中でCO₂を出す活動を個々人が少しずつ我慢することではない、ということです。

コロナ危機においては、私たちが日々の生活の中でマスクをしたり、手洗いや消毒をしたり、人との距離をとることは、感染拡大を防ぐために本質的に重要です。同様に気候危機において、私たちが日々の生活の中で少しずつ省エネしたりしてエコに暮らすのが本質的かというと、僕はそう思いません。それがまったく無駄だとは言いませんが、もしそれだけで満足して、自分の役目は果たしたと思つてしまったら、非常に残念なことです。気候危機においては、あと30年でエネルギーなどのシステムの脱炭素を完成させなければなりません。私たち一人ひとりが、そのことに関心を持ち、そのことを人と話し、脱炭素に取り組む企業や政治家や自治体を応援することで、それを後押しすることが、気候危機において真に必要な行動だと思います。



(えもりせいた)

1970年神奈川県生まれ。東京大学教育学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。1997年に国立環境研究所に入所し、気候変動リスク評価研究室長などを経て現職。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次・第6次評価報告書主執筆者。





わが社の SDGs

—— 会員の皆様の取り組みを隨時ご紹介します ——

不二越機械工業株式会社 ~未来目線で地域、社会そして人にやさしい環境づくりを推進します~

私たち不二越機械工業株式会社は、2019年7月に長野県SDGs推進企業に登録して頂きました。環境にやさしく、人にやさしい、こうした中から環境に配慮した製品づくりを推進しております。具体的な取り組みとして、

- ①LED照明化（写真①）、空調設備の更新、エコカーの導入、化石燃料の廃止等、事業活動において排出されるCO₂排出量の削減
- ②幅広い雇用環境への取組みとして、役職定年制の廃止を実施、70歳までの継続雇用も視野に、社員の幅広く、働きがいのある環境の整備
- ③高生産性、高効率そして付加価値の高い装置



左より ②枚葉式片面研磨装置 ③ウェーハ接着装置 ④片面研磨装置

タカノ株式会社 ~地域に愛される赤そばガーデンをめざして~

タカノ株式会社は県より第5期SDGs推進企業として登録いただきました。そこで今回は、宣言書で重点的な取り組みとして挙げた、「工場緑化と地域に開かれた工場施設の推進」についてご紹介します。

私たちが緑化活動を行っている「ルビーの里」は、駒ヶ根市にある弊社工場に隣接されたガーデンです。信州大学と共同開発した赤そばの花、「高嶺ルビー2011」が鮮やかに咲きそろうことから名付けられました。

赤そばは毎年6月と10月に見頃を迎ますが、それ以外の季節でも楽しめるよう、社員が花の手入れをし、保育園の子どもたちの散歩コースとなっています。また、冬には



高嶺ルビー2011



毎年開催している赤そば祭り

地元の高校生が発案したイルミネーションをガーデン内に飾りつけるなど、地域の交流の場をめざしています。

このような計画的な緑地整備、地域貢献が高く評価され、ルビーの里は財日本緑化センターが主催する緑化優良工場等表彰制度において、2016年「日本緑化センター会長賞」、2019年「関東経済産業局長賞」を受賞することができました。これを励みに、今後も地域の皆様に愛されるガーデンを作っていくたいと考えています。

また、ルビーの里にはカフェも併設されています。散策後、テラス席で食べるソフトクリームは最高です。ぜひお越しいただければ幸いです。

(TQM推進室 林 千夏)

● 地球温暖化防止活動推進センター通信 ●

県推進員だより

自然環境の変化から見えてきた温暖化

NPO 法人 戸隠自然森林植物園ボランティアの会 理事長 水上 則男



NPO 法人 戸隠森林植物園ボランティアの会^{*1}では、戸隠と信濃町の境にある、皆伐された後、笹に覆われていた国有林 1.94ha の「戸隠ふれあいの森」で、「鳥居川の水源の森を造ろう」と植樹活動を続けています。ブナ、トチノキなどの落葉広葉樹の苗をボーイスカウトと植える植樹祭は二十年を経、少しづつ林らしくなってきました（写真①）。

「ハチドリのひとしづく」^{*2}でしょうか。



①

この法人のもう一つの活動は、戸隠森林植物園で行う自然観察会（写真②）、戸隠高原でのネイチャーウォークや雪上観察などです。

私がこの法人に参加してから十数年たちました。その間、戸隠の自然は少しづつ変わってきています。ここ数年は殊に大きく変化しているように思えます。特に雪が急激に少なくなります。積雪量が減少するだけでなく、サラ

ブナの
森は 緑の
ダム



▽ サラした雪から湿った雪に変わってきたように感じています。毎年三月の中旬に雪上観察会を行っていますが、積雪量が少なく、実施が心配されるようになっています（写真③）。また、場所によって、湿地が乾燥化したり、台風による倒木も増えています。

「地球温暖化」は単に平均気温が上がるだけではなく、「異常気象が頻発する、台風が大型化する」と推進員研修で学んだことが、予想よりはるかに早く起こっていると感じています。

大きく
なれば



③

^{*1)} 2018 年「信州エコ大賞」で奨励賞受賞。 ^{*2)} 森の火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリは、笑う動物たちに「私は、私にできることをしているだけ」と一言。小さな力の大切さを教えてくれる南米エクアドルのお話。

「信スマ」にご参加ありがとうございました！

長野県センターは県などと 9 月 17 日から 9 月 30 日までの 2 週間の日程で、「信州スマートムーブ通勤ウィーク」を展開。マイカー以外での通勤が難しい方も参加できるよう、これまでの「ノーマイカー通勤」に、本年度から「エコドライブ通勤」を加えて実施しました。結果（速報値）は次のとおりです。

● 参加事業所数 174 事業所……半数を超える 92 事業所が初参加！

● 参加者数 31,191 人

（ノーマイカー通勤 6,445 人、エコドライブ通勤 24,746 人）

● CO₂ 削減量 57.3t-CO₂（約 5,000 世帯の 1 日当たりの排出量に相当）



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

11月

はエコドライブ推進月間

WARM BIZ

開催レポート

資料提供
環境省

パネル展 「気候変動と生物多様性を考えよう」 10/1木-8木

パネル展の初日の模様を写真でご報告します。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！

●NBS 長野放送取材

10/2金14:45-「ふるさとライブ」で紹介されました。



●VR（仮想現実）シアター

上下左右に広がる視野で立体的な映像！
気候変動がさらに悪化したら…を体感。

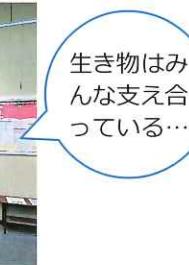


●会場入口

香川照之さんの自然教育絵本のキャラクターがカラフルにお出迎え。



●パネル展示 ①「気候変動を考えよう」 ②「生物多様性を考えよう」



●メッセージコーナー

信州発 地球温暖化防止への決意！



●ノベルティプレゼント

「クールチョイス賛同書」と「生物多様性のためのMy行動宣言」に記入して、ダンボール製のガシャポンで抽選。



●クイズパネル



●触(さわ)れる地球

迫力ある映像と解説



協会行事等の予定

◆自然エネルギーシンポジウム

11/8（日）長野市役所交流スペース

◆親子わくわくフェスタ

11/8（日）長野市生涯学習センター

*新型コロナウィルス感染症拡大防止のため延期や中止となることもあります。

11/14
協会創立
記念日

事務局だより

昨年の台風により甚大な被害を受けた長野市穂保地区に社屋がある(株)ミールケア様の植樹祭に参加しました。6月につづき2回目の開催、当協会職員含め約150名がボランティア参加し、3,000本の苗木を植えました。やがて防災林になる構想に、地域復興への願いが感じられました。

〔発行元〕 〒380-0835 長野市新田町 1513-2

誌名の「エコシン」は「エコ信州」の略称です

●一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL:(026)237-6620 FAX:(026)238-9780 E-mail:nace@janis.or.jp http://nace.main.jp/

●長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6625 FAX:(026)238-9780 E-mail:nccca@dia.janis.or.jp http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/

●長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6681 FAX:(026)237-6690 E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp http://www.eco-mame.net/

